

## 令和 元年度 第19回東日本高等学校弓道大会県予選会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 2 開催日 令和 元年11月16日(土) 男女団体予選決勝・男女個人予選決勝
- 3 日程 受付(選手1名+顧問) 8:10~8:20・監督会議 8:30~・開会式 9:00~  
\*係職員と当番校は8時に集合し準備にあたる。  
\*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
- 4 会場 ALSOKぐんま武道館弓道場(遠・多) 前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…男女とも各校1チーム以内(正選手3名・補欠1名以内)  
個人戦…団体出場者(団体戦的的中を個人戦的的中とし補欠戦は実施しない)
- 8 競技方法 3人立 立射 5射場  
団体戦 予選…1チーム24射(各自8射)を行い、上位16チームを通過とする。  
\*決勝トーナメントの組み合わせは的中順とし、同中の場合は立順の早いチームを上位とする。  
\*競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームを上位とする。  
団体戦 決勝…1チーム12射(各自4射)のトーナメント方式とする。  
\*同中の場合は1本競射を行い、勝敗を決定する。競射の1本目は替矢を使用するので替矢を準備する。  
\*5~8位決定戦のみ1チーム6射(各自2射)とする。同中の場合は同順位とする。  
\*選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。  
\*団体戦に限り時間制限をおこなう。(5分30秒で予鈴、6分で本鈴、ベルと同時発射は失格)  
個人戦 予選…各自8射を行い順位を決定する。  
\*優勝決定のみ射詰めとする。それ以外は遠近(多人数の場合は複数的使用)で順位を決定。  
\*個人戦の射詰競射は4射の中が続いても結果が出ない場合は、八寸的(星的)を使用する。
- 9 競技順序 ①女子団体予選1回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)  
②男子団体予選1回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)  
③女子団体予選2回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)  
④男子団体予選2回戦(1名のチームは団体の最後に合同チームで引くことがある)  
⑤男女決勝進出16チームが決定しない場合の競射(男女同時に実施することがある)  
⑥男女個人の優勝決定射詰競射順位決定(男女同時に実施することがある)  
⑦男女個人の優勝決定以外の遠近順位決定(男女同時に実施することがある)  
⑧女子団体決勝トーナメント1回戦(各自4射)  
⑨男子団体決勝トーナメント1回戦(各自4射)  
⑩女子団体決勝トーナメント2回戦(各自4射)  
⑪男子団体決勝トーナメント2回戦(各自4射)  
⑫女子団体5~8位決定戦(各自2射)  
⑬男子団体5~8位決定戦(各自2射)  
⑭女子団体準決勝(各自4射)  
⑮男子団体準決勝(各自4射)  
⑯女子団体決勝戦(各自4射-第1・2射場)・3~4位決定戦(各自4射-第4・5射場)  
⑰男子団体決勝戦(各自4射-第1・2射場)・3~4位決定戦(各自4射-第4・5射場)  
⑱代表校監督会議  
⑲閉会式・表彰式
- 10 引率監督 団体引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(公立学校にあつては教員とする。)  
個人引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。(公立学校にあつては教員とする。)  
監督は校長が認める指導者とし、外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入する。
- 11 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。  
大会申込までに高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。  
年齢は早生まれの者は17歳以下とし、それ以外の者は18歳以下とする。  
選手の学年は高校2年生以下とする。同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。  
参加選手は、あらかじめ健康診断を受けていること。

12 表彰 男女ともに

団体1位 賞状・楯・優勝カップ（持ち回り-前年度優勝校にレプリカ贈呈）

団体2位～3位 賞状・楯

団体4位～8位 賞状（専門部の賞状）

個人1位～5位 賞状・トロフィー

\*昨年度団体優勝校「男・伊 工」「女・健大高」は優勝カップの返還をする。

13 代表権 男女ともに団体戦上位2校に代表権が与えられる。（個人戦の代表権はない）

\*本大会に3人エントリーできない学校は、代表権は得られない。→下位より繰り上がる。

\*本大会に5人エントリーできない学校は、5人立の代表権は得られない。→5人立のみ下位より繰り上がる。

\*上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。

\*第19回東日本高等学校弓道大会 令和2年3月20日（金）～3月22日（日）於・岩手県盛岡市

14 参加料 男女ともに1校2,000円（当日受付けに払込むこと）

15 申込方法 ①申込ファイルに入力の上、11月7日（木）16:00（期限厳守）必着で下記宛メールする。

申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp

②申込ファイルから出力した申込書に校長印を押印し11月11日必着で伊勢崎高校金山大弓宛に送付する。

16 プロ編成 11月12日（火）13:30より渋川青翠高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。

17 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。

②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。

③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。

④弓具には記名しておくことが望ましい。（忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく）

⑤碟の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手碟、小指付根押手碟、ゴム底足袋の使用は禁止する。

⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。

⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。

（制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける）

⑧弦切れの場合、介添えが弓を張る（申し出があった場合は進行が張る）

⑨服装、応援などについては顧問会議の取り決めに従うものとする。

⑩第3控後ろの通路での応援や選手への指導は禁止する。観客席では私語は慎むこと。

⑪貴重品の管理は各自で行うこと。

⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。

⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。

◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。

大会プログラム・事務連絡文書の記載と、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。

※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。